

健康保険証の存続を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和5年9月20日

提 出 者

15番 蔵 野 恵美子

13番 さこう も み

20番 三 島 杉 子

23番 下 田 ひろき

武蔵野市議会議長 落合 勝利 殿

健康保険証の存続を求める意見書

政府は、令和6年（2024年）秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化する法案を令和5年6月2日に可決・成立させた。しかし、厚生労働省が発表した7,312件に上る被保険者資格情報の誤登録（令和3年（2021年）10月から令和4年（2022年）11月まで）をはじめ、マイナ保険証に関するトラブルが続出し、多くの患者・国民が不安を抱えている。

マイナ保険証とオンライン資格確認システムが保険資格確認の手段として確実なものに至っていないのが現状であり、高齢者を中心に使い慣れた保険証をなくさないでほしい、という声も少なくないとする。デジタル化が進む中であって、誰もが安心して医療を受けられるように、健康保険証の廃止は中止して、存続することを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年9月 日

武蔵野市議会議員 落合 勝利

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
厚生労働大臣

宛て